

8/25(金)公開のアニメ映画『きみの声をとどけたい』

C&R社のアニメプロデューサー・石川 学が脚本を担当

株式会社クリーク・アンド・リバー社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井川幸広、以下C&R社)のシナリオライター・エージェンシーに所属するアニメーションプロデューサー・石川 学はこの度、8月25日(金)公開の劇場用オリジナルアニメーション『きみの声をとどけたい』(制作:東北新社、マッドハウス、URL:<http://kimikoe.com/movie/>)の脚本を担当いたしました。なお、本作の特別番組「この夏!日本中が奇跡に包まれる アニメ映画『きみの声をとどけたい』8.25まで待てないSP」第二回が、明日7月15日(土)11:00からCSファミリー劇場で放送されます。

『きみの声をとどけたい』は、湘南を舞台に高校生たちの悩みや葛藤、夢を描いた青春オリジナルアニメーションです。本作の監督は『劇場版総集編 オーバーロード』を手掛けた伊藤尚往氏が務め、制作はアニメ『時をかける少女』『ちはやふる』を手掛けたマッドハウスが担当いたしました。本作では、「声の力」をテーマに2016年8月、新世代声優発掘オーディション「求む!キミの声!!キミコエ・オーディション」を実施。オーディションを勝ち抜いた新人声優ユニット「NOW ON AIR」の6人と三森すずこが主演を務めます。8月25日(金)よりTOHOシネマズ新宿ほかで、全国公開が開始いたします。

本作の脚本を担当した石川 学は、C&R社のシナリオライター・エージェンシーに所属するアニメーションプロデューサーです。これまで、TVアニメ『ジェネレーターガウル』のシナリオやアニメ映画『エヴァンゲリオン 新劇場版:序・破』のラインプロデュース、第39回モントリオール世界映画祭正式出品作品・映画『ねぼけ』のプロデュースなど、様々な作品を手掛けてきました。2015年にC&R社のシナリオライター・エージェンシー事業(<https://www.creativevillage.ne.jp/lp/scenario/>)に参画。C&R社が開発したスマートフォンゲーム『戦国修羅SOUL』のオリジナルアニメーションPVをプロデュースしたほか、シナリオライターのスキルアップ講座で講師も務め、後進の育成などにも尽力しています。

C&R社のシナリオライター・エージェンシーは、2014年に事業をスタート。これまでで約400名のシナリオライターをネットワークしてまいりました。主にゲーム・アニメのシナリオや映像のプロデュースやアニメ・ゲーム・コミックの原作コンテンツの企画制作、シナリオライターの教育育成をサービスの柱に事業を展開しております。300名を超えるクリエイターが常駐するC&R社制作ゲーム開発スタジオと連携し、シナリオ制作から声優キャスティング、収録、PV制作まで、ゲームやアニメ制作に関するあらゆるニーズへ対応いたします。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

アニメ映画『きみの声をとどけたい』 概要

8/25(金)TOHOシネマズ新宿ほか全国ロードショー



出演:片平美那 田中有紀 岩淵桃音 飯野美紗子 神戸光歩 鈴木陽斗実 / 三森すずこ / 梶裕 貴 鈴木達央 野沢雅子
 監督:伊藤尚往
 脚本:石川 学
 音楽:松田彬人
 キャラクターデザイン:青木俊直
 アニメーションキャラクターデザイン:高野 綾
 制作:東北新社、マッドハウス
 製作:「きみの声をとどけたい」製作委員会
 配給:東北新社

Webサイト: <http://kimikoe.com/movie/index.html>
 Facebook: <https://www.facebook.com/kimikoe.movie/>
 Twitter: https://twitter.com/kimikoe_movie
 YouTube: https://youtu.be/EbBdCJb_j6c

特別番組「この夏!日本中が奇跡に包まれる アニメ映画『きみの声をとどけたい』8.25まで待てないSP」第二回概要

7月15日(土) 11:00~ CSファミリー劇場 「キミコエを100倍楽しむ3つのコトダマ」

映画のキーとなる3つのポイント「ストーリー」「キャラクター」「舞台」。なぜ魅力的なの? スタッフによる制作秘話を公開! さらにNOW ON AIRと三森すずこが本作の舞台・湘南を訪れる。

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL:<http://www.cri.co.jp>

石川 学 プロフィール



1969年生まれ。

クリーク・アンド・リバー社 デジタルコンテンツグループ プロデューサー
 1994年株式会社竜の子プロダクションに入社、アニメーションのプロデューサーとして多数の作品に携わる。1998年「ジェネレーターガウル」(TVアニメーション/水島精二監督)でシナリオライターとしてデビュー。プロデューサーとしての代表作に「エヴァンゲリオン新劇場版序・破」(ラインプロデュース)、「鴉-KARAS-」「サイコパス2」などがある。
 2012年、ニューシネマワークショップにて実写映画の制作と配給を学ぶ。2015年、壺岐紀仁監督「ねぼけ」で長編映画を初プロデュース。現在はC&R社にてアニメプロデュース、シナリオプロデュースを行っている。

【シナリオライター・エージェンシーへのご依頼・お問い合わせ】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 デジタルコンテンツ・グループ

Email : shinajuku@hq.cri.co.jp

TEL : 03-4570-7087

URL : <http://www.creativevillage.ne.jp/lp/scenario/>

■株式会社クリーク・アンド・リバー社 会社概要

本 社: 東京都千代田区麹町二丁目10番9号 C&Rグループビル

設 立: 1990年3月

代 表 者: 代表取締役社長 井川幸広

ネットワーク: 東京・大阪・札幌・仙台・大宮・横浜・名古屋・京都・高松・広島・福岡・熊本・那覇/
 韓国・上海・北京・カリフォルニア

事業内容: クリエイティブ・建築・ファッション・食・学術分野のプロフェッショナルに特化したエージェント、プロデュース、アウトソーシング、著作権及びコンテンツの管理・流通。グループには、医療・IT・法曹・会計分野がある。

URL : <http://www.cri.co.jp> | <http://www.creativevillage.ne.jp> (クリエイターのための情報サイト「CREATIVE VILLAGE」)

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL: 03-4550-0008 FAX: 03-4550-0018 URL: <http://www.cri.co.jp>

石川学

アニメ・シナリオプロデューサー

0004
創る人 ツクルヒト
CREATOR

C&R CREATOR
file no. 004

Anime & Scenario Producer

MANABU
ISHIKAWA

Photo: Yoshiyuki Shimamoto
Text: Yukiko Kawaguchi

想像と俯瞰。

2つの視点が見据え、新たな物語を紡ぎ出す。

アニメ・シナリオプロデューサー石川学の優しい眼差しには、時折、激しい情熱の灯が見え隠れする。
『風の谷のナウシカ』を見て映画の世界を夢見た少年は、アニメ制作スタジオの名門、タツノコプロの扉を叩く。
数々の先人たちとの出会いが、プロデューサーとしての彼を磨き、シナリオライターへの挑戦にも導いた。
想像と俯瞰。経験から培った2つの視点は、広大な“世界”を映し出し、
新たな表現の場へと彼を駆り立て続けている。

果てしない創造力を。
株式会社クリーク・アンド・リバー社

2015. DEC.

想像と俯瞰。2つの視点が世界を見据え、 新たな物語を紡ぎだす

C&R CREATOR
file no. 004

▶ 制作進行のポジションで、 アニメ業界でのキャリアをスタート

映画製作に興味を持ったのは『風の谷のナウシカ』を初めて見た時。高校時代に8mm映画を監督したことを機に、シナリオの勉強も始めました。卒業後、竜の子プロダクション(現、タツノコプロ)に入社し、シナリオライターとは違う制作進行管理の仕事からスタート。入社2年目にテレビアニメ『新世紀エヴァンゲリオン』に関われたのは貴重な経験でした。庵野秀明さんや鶴巻和哉さん、摩砂雪さんなど錚々たる監督と知り合えましたし、師匠にあたる先輩プロデューサーに面白い方がたくさんいて、そこで仕事の楽しさを教わったと思っています。

▶ “自分のやりたいことを口に出す”大切さ

ある仕事で、アニメーション監督として活躍中の水島精二さんと知り合い意気投合。僕にはシナリオライターになる夢があると伝えていたところ、後に水島さんの初監督作『ジェネレーターガウル』でシナリオを書かないかと声をかけてもらえました。それがシナリオライターデビュー。自分のやりたいことを口に出すことは大事だなと実感しましたね。

また、インディーズの実写映画作りも始めました。簡単に映像が撮れる時代になり、クラウドファンディングを活用すれば広く資金集めをすることもできる。フリーで、新しい作品作りをしてみたいという想いが強くなりタツノコプロを退社しました。

クリーク・アンド・リバー社との出会いはこの時です。映像やゲームのオリジナル企画を作り、売り込むことも考えているという展望を聞き、そこに魅力を感じました。

▶ クラウドファンディングからスタートした 『ねぼけ』、モンリオールの映画祭へ

クリーク・アンド・リバー社でソーシャルゲーム系のシナリオ制作を行う一方で、プロカメラマンの香岐紀仁さん初監督映画『ねぼけ』を初プロデュースしました。無名の作家が恋人を失って真実の愛に気づくというシンプルな内容なのですが、落語の「替り目」という演目を絡めたものにしたいと聞いた時は、難しそうだと思います。そこにきちんとカタルシスが行くように、香岐さんと2人でシナリオに推敲を重ねました。

担当作品紹介

- TVアニメ『ジェネレーターガウル』(シナリオ)
 - アニメ映画『エヴァンゲリオン新劇場版:序・破』(ラインプロデューサー)
 - OVA『鴉-KARAS-』/ TVアニメ『サイコパス2』(プロデューサー)
 - 長編映画『ねぼけ』(プロデューサー)
 - 戦国修羅SOUL 完全オリジナルアニメーションPV (プロデューサー)
- 他多数

『ねぼけ』が第39回モンリオール世界映画祭のファーストフィルム・ワールドコンペティション部門に正式出品された時は本当に嬉しかったです。映画祭に呼ばれた作品が宣伝活動を行うことは稀でしたが少しでも多くの人に届くよう、現地モンリオールで落語を披露したり、ロケ先の宮崎県新富町の方に神楽を舞ってもらったりと様々な宣伝活動を行いました。

2度のクラウドファンディングでの目標金額達成から始まり、映画祭で事務局の人たちとの出会いがあったりと、人の繋がりで映画が広がっていくことを実感しました。

▶ これまで培ってきたスキル

シナリオ制作に長く携わってきたことで物事を“俯瞰する視点”と“想像力”が養われました。シナリオを書くときは日々夢想です(笑)。想像を重ね、俯瞰してみることを繰り返すことで「これならいける」と思う瞬間が訪れるんですよ。それを実現させるのはプロデューサーの仕事。スタッフの様子や現場の状況など全体を俯瞰して見ながら常に“想像力”を働かせています。周囲に与える影響を“想像”し、上手くいっていない時ほど笑顔でいるように心がけています。関連性がないように思うかもしれませんがシナリオ制作で身についたスキルがプロデューサーの仕事でとても役立っています。

▶ 世界を見据えて 新たな発表の場を作りたい

今後は動画配信サービスなどを使ってこれまでとは違った形で作品を発表できる場を作りたいと思っています。また、アニメーションは簡単に国境を超えられるのでワールドワイドに通用するクリエイターと一緒に仕事をしたいです。クリーク・アンド・リバー社が扱うゲームタイトルが、世界を見据えた展開の第一歩になれば嬉しいです、そういうゲーム作りをしていきたいと思っています。



MANABU
ISHIKAWA
Anime & Scenario
Producer

PROFILE...

石川 学

[いしかわ・まなぶ] 46歳

1994年竜の子プロダクション(現:タツノコプロ)入社。アニメーションを多数プロデュース。1998年TVアニメでシナリオライターデビュー。2014年香岐紀仁監督『ねぼけ』で長編映画を初プロデュース。2015年からクリーク・アンド・リバー社のアニメ、シナリオ事業にプロデューサーとして参画。他、プロデュース作に「エヴァンゲリオン新劇場版:序・破」などがある。